

県下一斉特別警戒に協力



年末年始特別警戒の一環として毎年行なわれている、神奈川県警の県下一斉特別警戒に坂本1・3丁目の防犯パトロール隊が参加協力しました。12月19日19時坂本交番前に集合して、横須賀署 加瀬地域担当次長の日頃の防犯活動への感謝と今後の協力のあいさつの後、各町内に分かれて警察官が同行してパトロールを実施した。
(参加者:警察官8名・1丁目9名・3丁目8名・他1名)
ご協力ありがとうございました。 防犯指導員 斉藤利雄

坂本歌おう会 会員募集 声を出して若返りましょう♪

毎月第2水曜日 1部 9:30~10:30 2部 10:45~11:45
教師 佐野享子先生(坂本5丁目在住)
会場 坂本1丁目町内会館 2階
会費 1月~6月 2000円(1月集金) 7月~12月 2000円(7月集金)
会長 加藤濱子(Tel 825-2476) 3丁目

入会希望者は下記連絡先へお電話ください

飯田智子 822-4860 (1・2丁目)	加藤濱子 825-2476 (3丁目)
松本ルリ子 822-0777 (4丁目)	北口正子 825-7592 (5丁目)
大熊トミエ 824-5233 (6丁目)	

アットホームな雰囲気! 鍼灸治療室ベストライフ梶 予約制 駐車場あり

★手足腰の冷え、肩こり、腰痛、膝関節痛、坐骨神経痛、眼精疲労、女性特有の悩み(更年期障害・生理不順…)他、症状緩和に鍼灸治療は有効です。

★ご存じですか? 市のシニアリフレッシュ事業(はり・きゅう・マッサージの助成) 75歳以上の方は、利用券を使用すると自己負担金¥1000で施術することができます。→詳しくは高齢福祉課へ
当治療室は、シニアリフレッシュ券が利用できます。

★施術料 鍼灸治療+マッサージ 60分 ¥4000 初診料 ¥1000
はり治療・灸治療のみ¥3000

★休診日…日・水・祝・火曜午前中 **★町内出張治療可**

★坂本町3-13 TEL/FAX 825-4723 鍼灸マッサージ師 梶 和子
★ 鍼灸って、なぜ効くの? 詳しくはウェブで ベストライフ梶 検索

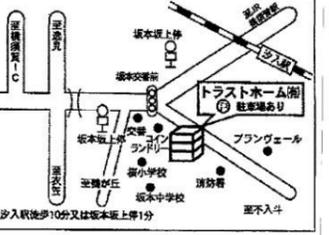


神奈川県知事(3)24476号 公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会/社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 全媒介

AC Trust Home (有)
Asakaze Community Executives
地産不動産情報ネットワーク **TEL 046-825-3070**

http://www.trusthome-coltd.com/ リフォーム見積もり無料 Trust Home (有) 検索

横須賀市坂本町1丁目19番地41 QRコード
(京浜急行汐入駅徒歩10分)



**同好会等の活動紹介とメンバー募集などにもこの欄をご利用下さい。(無料です) 商業広告の記載も承ります
5cm*20cm 1000円 (求人広告は無料です)
ご意見・広告・寄稿は (fax) 827-8086 (メール) csc_taka@yahoo.co.jp
お問合せ 823-4181 編集責任者 斉藤隆親(連合町内会総務担当)

広報さかもと 2015年 新年号

発行者: 坂本連合町内会

新年の年頭にあたって

坂本連合町内会 稲垣 和生

坂本の皆さん、新年明けましてお目出とう御座います。
昨年は、坂本連合町内会として幾つかの取り組みを行ってきました。役員皆さんのご理解とご協力のもと、これにご賛同いただき計画どおりの事業を達成することができました。
本年も、坂本に新たな取り組みをスタートさせました「震災時の避難所運営委員会」、「地域運営協議会」があります。昨年からは、準備段階をしていますが、本年は、実践的な取り組み活力ある坂本を目指していきたいと考えています。

「震災時の避難所運営委員会」は、文字通り震災時に避難所に避難された時に、出来るだけ、混乱のおきないような避難運営を考えていかなければなりません。そのための訓練が必要で、ぜひ、皆さんの参加をお願いするところです。

また、「地域運営協議会」は、現在、坂本地区にあります個々の諸団体が一同に介して新しい視点から、よりよい町づくりのための活動を考え、取り組んでいく「地域運営協議会」です。いずれも、やりがいのある取り組みですので、坂本の皆さんにも、ご理解とご協力をお願いします。

種々述べさせて頂きましたが、本年もよろしくお願い申し上げます。

秋本塗装

代表 秋本利晴
携帯 080-5465-9324

地元業者ならではの「信頼を大切に!」をモットーに頑張っております。
塗装・リフォームのことならおまかせ下さい。お気軽に無料見積もりお申し付け下さい。

横須賀市坂本町6丁目30番地 TEL **046-801-1250**

大六天神社のご祭神 「大山祇神命」について その6

年神様と共に祝うお正月

オオヤマツミノミコトのお孫神で、スサノオノミコトの御子であられるオオトシノカミ（大年神）は、歳徳神や恵方神とも呼ばれる豊年の神様で、その年全体の福徳と吉方位を司る大神様です。一方で、除夜に各家を訪れ福徳をもたらすトシガミサマ（年神様）は、私たちにあって、より身近なお正月の神様といえます。

今回は、年神様とお正月のお話です。

年神様は、毎年除夜に訪問し、新年の福徳をもたらす、お正月を私たちと共に祝いされる神様です。

代々1つの家を見守り続けてくださり、家長が代わると年神様も代わりますが、いずれもその家にご縁のある神様だそうです。これは、ご先祖様が神や仏となり子孫を守ってくださるという考え（祖霊信仰）と深く結びついています。昔の人は「ご先祖様の御霊（みたま）が山の神や田の神となり、私たちを見守ってくださっており、お正月には年神様となって、子孫の繁栄を願いお帰りになる」と信じていたのです。

現在でも、農村地域などでは、大晦日に祖霊祀りを行い、ご先祖様のお帰りを祝う行事が残っています。

また、皆さまもよくご存知の昔話【笠地蔵】も、大晦日の夜（除夜）に心優しい老夫婦へ神仏が恩返しとして福をもたらすという、年神様をモチーフとしたお話です。

お正月のお飾りやお供え餅も、年神様をお迎えするためにご用意しているものです。

門松を立てるのは、神々の住んでおられる四次元界と私たち人の住む三次元界を繋ぐためご門を重ね、松を各家の目印としていただくためです。松には“待つ”という意味が込められているのです。

注連縄（しめなわ）を飾るのは、お正月の仮神殿としてお過ごしいただくように清め整えるためであり、鏡餅は、お迎えした年神様の依代（よりしろ＝坐す場所）としてお供えしているものです。

年神様の御魂（みたま）が宿ったありがたいお餅なので、鏡餅は“切る”ではなく“開く”と表します。そして、この神威のこもったお餅の欠片を子供たちに分け与えたのが“お年玉”のはじまりです。つまり、お年玉とは、お餅に込められた年神様の御魂“御年魂”を食することで、1年間の無病息災を願うという意味があったのです。現在も、年神様ご扮した男性が元旦に“年玉”として丸餅を配り歩く行事が残っています。

お節料理は、五穀豊穡・子孫繁栄・家族の安全と健康などの幸せを願いながら、山海の幸を盛り込んだ縁起のよい料理であり、年神様への供物でもあります。厄を払うといわれる柳でできた“祝い箸”で頂くのが正式です。祝い箸の両端が洗細りになっているのは、一方を年神様がお使いになり、もう一方を人が使うことで、食事を共にするという意味を表すのです。このように、年神様と共に家族そろって過ごす年初めの貴重な時間がお正月だったのです。

かつて、農業を中心として自給自足をしていた頃、人々は田畑を耕し、狩や漁をし、薪をくべて火を熾し、井戸や川の水を汲み、自然の恩恵に感謝をしながら日々の生活を営んでいました。時として自然は、その強大な力で災いをもたらすこともありましたが、それでも人々は「自らも自然の一部として生かされている」という謙虚な気持ちで、自然の中に坐す神を畏怖しつつも崇め敬っていました。

しかし、電気もガスも水道も不自由なく使うことのできる現代では、自然の恩恵を直に感じることは少ないでしょう。また、時間に追われる忙しい日々の中では、大自然とふれあい、そこに坐す神々を想うことも難しいかもしれません。でも、神と人とは“一心同体”。神は天に鎮まり、人は神からお分けいただいた御魂を心として生きているのです。神様と私たちは、昔も今もずっと心でつながっているのです。

坂本・大六天神社の鎮座する青葉山は、樹齢百年を越える御神木が四季を通じて瑞々しい葉を茂らせ、季節の花々が競うように咲き、鳥たちが歌う自然の気配に満ちた美しい場所です。境内は、古のままにゆるやかな時の流れる、静かな祈りの場であり、清らかな癒しの場です。年末年始は、どうぞ青葉山の神様たちに会いにいらしてください。そして、穏やかな心で新しい1年をお過ごしください。

新年が平安で幸多き年となりますよう祈念しながら、みなさまのご参拝をお待ち申し上げます。

大六天神社

大六天神社

年末年始の神事・時間変更のお知らせ

【除夜祭】 大晦日・夕刻6時

これまで、深夜0時に行っておりました**除夜祭**(じよやさい)を、**夕刻6時**に早めます。

また、除夜祭の前に、**年越しの大祓**(としごしのおおはらえ)という、1300年以上前の大宝令の時代(平安時代)を起源とする、罪穢れの祓い清めの神事を行います。

【歳旦祭】 元旦・朝9時

元旦、朝7時に行っておりました**歳旦祭**(さいたんさい)を**朝9時**に行います。

また、歳旦祭の前に、**清浄祓**(しょうじょうばらい)という、天地・内外・六根のすべてを祓い清める神事を行います。

穢れとは「気が枯れる」ということで、心身ともに弱くなった状態のことです。

祓い清めの神事では、知らずしらずの内に犯してしまった罪や身についてしまった穢れを祓い清め、さらには私たちが生きる社会全体を祓い清め、世の中が平安でいつまでも栄え続けるようにと祈りをささげます。

続く祭祀では、ゆく年の神様のご加護への感謝の気持ちをお伝えし、新しき年の国の繁栄・五穀豊穡と国民の加護を天地神に祈願するものです。

除夜祭も歳旦祭も、お祈りの趣旨は同じです。

夜は開扉・点燈し雅楽を流しておりますが、午前0時の神事は行いませんこと、あらかじめご承知おきください。底冷えのする深夜よりも、寒さの緩やかな時間帯にご参拝いただき、夜は年神様と共にゆつくりと暖かくお過ごしいただければと思っております。

ご家族・お仲間そろってのご参拝を、心よりお待ち申し上げます。

お願い：お焚き上げの品はしめ縄やお札など容易に燃せる物以外の持ち込みはご遠慮下さい

.....【用語解説】.....

除夜とは、「旧年を除く夜」という意味で、大晦日の日没から翌未明のことをいい、新年に属する夜と考えます。この時間帯に斉行される神事が【除夜祭】です。

元旦とは、元日の朝のことをいい、この時間帯に斉行される神事が【歳旦祭】です。

除夜に参拝することを【除夜詣】といい、年が明けてから初めて参拝することを【初詣】といいます。

昔は、初日が昇ってから年明けとしていましたが、現在では午前0時を年明けとするのが一般的となっており、午前0時を過ぎてからの参拝を初詣とする習慣が定着しているようです。